

No	感染症(PT)	出典	概要
253	デング熱	Taipei Times 2007年6月17日	台湾で、2007年6月初旬にベトナムへ旅行したChiayi郡の5人グループのうち4人がデング熱に感染していたことが確認された。Nantou郡では5月10日から6月7日の間ベトナムに行っていた6歳の少女が、帰国した日に発熱し、デング出血熱感染症例と考えられる。今年になってから今まで36例のデング熱輸入症例が報告されている。そのうち、22例はインドネシア、9例はベトナム、3例はタイからである。
254	デング熱	TODAYonline 2007年6月12日	2007年6月6日、シンガポールのHougang在住の63歳男性が急性デング熱感染により死亡した。今年の1月から5月の間に約2014の家庭で蚊の発生が見られたが、これは昨年同時期に比べ約80%増であった。2007年に報告されたデング熱感染は2472例で、2006年同時期と比較して89%増加している。
255	デング熱	Trans R Soc Trop Med Hyg 2007; 101: 738-739	日本人のデング熱患者(28歳、女性)の血漿サンプル中ではなく尿及び唾液中でデングウイルスを検出することに成功した。発症後7、14および25日目の血漿検体中で抗デングウイルス抗体は同定されたが、デングウイルス遺伝子は検出されなかった。発症後7、8および14日目の尿、ならびに7日目の唾液からデングウイルス1型遺伝子が検出された。現在の研究の結果は、尿及び唾液中のデングウイルス遺伝子の検出が有効な診断方法、特にウイルス性出血の子供の診断方法になりうることを示唆している。
256	デング熱	WWW.XINHUANET.COM 2007年6月7日	広州に拠点をおく調査会社の従業員で、3月に東南アジア諸国における調査のため中国を出発した23人のうち11例がデング熱に罹患し、さらに2例が旅行後、検査で陽性であることを、広州保健当局は2007年6月7日に確認した。11例は4月11日から5月14日に高熱、関節痛、嘔吐および発疹を呈し、外国でマラリアと診断され、治療を受けた者もある。最後の症例も回復し、ここ3週間疑い例も報告されていないことから、デング熱が拡がる可能性はないとしている。
257	デング熱	YAHOO!ニュース 2007年10月14日	台湾南部でデング熱が流行している。台南市当局によると2007年10月13日までに市内で511人の感染者が確認された。隣接する高雄市でも2つの区で集団感染が発生しており、感染の広がりは過去最大規模である。行政と軍が協力して大規模な蚊の撲滅作戦を展開する方針である。
258	デング熱	カナダ Public Health Agency of Canada/Travel Health 2007年8月23日	WHO Regional Office for South-East Asiaは、インドネシア、ミャンマー、タイにおいてデング熱症例数は昨年と比較して増加していると報告した。2007年7月現在、インドネシアはデング熱症例102556例を報告し、2006年同時期と比較して17%増加、ミャンマーは9578例を報告し、10%増加、タイは27582例を報告し、6%増加した。アジアおよび太平洋の他の多くの国々でも今年はデング熱が増加している。
259	トリパノソーマ症	ABC Newsletter 2007年9月14日	AABBはCDCからAABBシャーガス病バイオビジュランスネットワーク強化をするための資金を受けている。2007年9月13日現在、710名の反復反応性供血者がT. Cruziに対する抗体の追加RIPA試験を行った結果、196名がRIPA陽性、486名が無反応で、残りは結果がまだ出ていない。13の検査所がシャーガスネットワークにデータを報告し、18の検査所が同ネットワークにアクセスしている。
260	トリパノソーマ症	CDC/MMWR 2007; 56(7): 141-143	血液供血におけるTrypanosoma cruzi感染検出のための研究的アッセイを評価するために、アメリカ赤十字は2006年8月から2007年1月に米国の3つの血液収集センターで148,969の血液検体をスクリーニングする臨床試験を行った。その結果、32供血(4655例中約1例)がT.cruzi抗体陽性と確定された。シャーガス病に関する血液供血スクリーニングが広がるにつれ、保健当局はシャーガス病に関する診断、評価、管理に関する質問の増加を予期すべきである。
261	トリパノソーマ症	CMAJ 2007;177: 242	カナダ血液サービスは、2008年後半の血液製剤製造プロセス見直しの際に北緯49度以北では稀にしか見られないシャーガス病のスクリーニングを開始する。2種類のシャーガス病検査法がカナダ保健省の認可を待っている。供血血液の検査実施は、血小板製剤の製造を「バフィーコート」法に切替えてからとなる。メキシコや中南米では800万人~1,100万人がシャーガス病の保因者であり、毎年45,000人以上死亡している。カナダでは、これまでに輸血による感染が2例マニトバ州で発生した。
262	トリパノソーマ症	Reuters AlertNet 2007年4月13日	WHOによると、感染の数十年後に死亡する可能性もある寄生虫症、シャーガス病が、不適切な血液スクリーニングが原因でラテンアメリカから米国やヨーロッパに拡大している。WHOはバイエル社の支援を受けて、今や「地球規模の問題」となったシャーガス病根絶のための事業を拡大している。シャーガス病に感染している人は900万人にのぼると見られ、その多くはラテンアメリカの農村部の子どもである。最近では大規模な移民の影響で米国、スペインや他の欧州諸国に広がっている。
263	トリパノソーマ症	Transfusion 2007; 47: 540-544	神経芽細胞腫(ステージ4)を発症した3歳半の女児が複数の血液成分製剤投与を受けた後、Trypanosoma cruziによるシャーガス病と診断された。輸血された製剤の全供血者の血液を再検査したところ、初回供血者1名がT. cruzi抗体陽性であることが判明した。当該供血者は、ボリビア出身であり、17年前に米国に移住した。移住後は母国に帰国していない。本症例は、米国・カナダでの輸血によるシャーガス病感染の7例目の報告である。シャーガス病スクリーニング検査が必要であることを示している。